

朝日新聞(6/21)によると、国の推計で大規模地震で倒壊の危険性が高いとされた建物は、埼玉県内に524棟。三芳町も1棟含まれていた。

構造耐震指標(1s値)が、0.3未満だと大規模地震で倒壊の危険性が高い。

この1棟は、0.3未満だが、すでに耐震化計画の中で早急な対応が取られている。

三芳町では、国交省の基準値である0.6を大幅に上回る0.75を基準にして耐震化を進めている。

下記の表の通り、25年度には、耐震化100%が達成される予定である。埼玉県の耐震改修促進計画の目標年次の27年より、2年早い計画となっている。

三芳町公立学校施設耐震化計画

昭和59年に建設された藤久保中学校校舎・体育館及び耐震診断により、耐震補強の必要のない藤久保小学校3号館東館を除く小中学校校舎及び体育館の耐震補強工事の計画。

施設名	棟数	設計年度	実施年度	耐震化率
三芳東中学校校舎	3棟	18年度	19年度	28%
藤久保小学校校舎	3棟	19年度	20年度	40%
唐沢小学校校舎	1棟	20年度	21年度	48%
三芳東中学校体育館	1棟			
三芳小学校校舎・体育館	3棟	21年度	22年度	64%
藤久保小学校体育館	1棟			
竹間沢小学校校舎	3棟	22年度	23年度	80%
三芳中学校体育館	1棟			
三芳中学校校舎	1棟	23年度	24年度	88%
唐沢小学校体育館	1棟			
上富小学校校舎	1棟	24年度	25年度	100%
上富小学校体育館	1棟			
竹間沢小学校体育館	1棟			
合計	21棟			

耐震化率って？

1981年にできた「新耐震設計基準」に基づいて設計された新しい建物と、同基準ができる前の建物でも、補強工事を済ませた建物ならば、耐震性があると認められる。全体の建物数のうち、耐震性がある建物数が占める割合が耐震化率。

耐震化率

1s値とは

耐震改修促進法で定められた構造耐震指標であり、耐震診断の判断基準となる値で大規模地震を想定している。学校や体育館の1s値問題なども話題になっている。

一般的な1s値の目安としては
1s値0.3未満↓ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。

1s値が0.3以上0.6未満↓ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。

1s値が0.6以上↓ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
という定義がなされている。



ブレースで補強された校舎(東中)

ピカイチ!!さんのいも日記



生育するサツマイモの苗

今年もサツマイモの苗植がやっと終わりました。雨が多い日が続いたので、苗の育ちが悪く、心配していたが、思ったより順調でした。
これから、収穫の秋までは、草取り等の管理が中心になる。気持ちの上では一段落だが、ハウスの片づけやら雑務も待っている。